

第18回

TARCセミナー

日本の臨床研究の現状と問題点

—Nature研究等特定臨床研究の実施経験から—

臨床研究は、標準的医療の確立と医療の質向上に重要な役割を担っているが、わが国における実施環境には多くの課題が存在する。2018年に施行された臨床研究法により、特定臨床研究では、研究計画の作成、認定臨床研究審査委員会（CRB）での審査、利益相反管理、進捗報告などが厳格化された。そのため、手続きの複雑化に伴い研究開始までの期間延長や事務負担の増大が生じている。また、データ管理や情報利用に関する規制が強化され、研究者や医療機関には高度な管理体制の整備が求められている。さらに、多くの医療機関では研究支援人材やデータマネージャー、CRCなどの不足が深刻であり、臨床業務との両立が困難となっている。ここに民間のCROを使用すると多額の研究費を要するため、特にアカデミア主導研究の実施が制限される状況にある。日本の臨床研究を活性化するためには、規制と研究推進の適切な均衡を図るとともに、研究支援体制の強化、人材育成、研究資金の拡充が不可欠である。ここでは実際に施行したNature研究などの臨床研究をとりあげ、実際の運営上の問題点と研究の重要性についてお話したい。

2026年8月26日（水） 17:30-18:30

ハイブリッド【大学棟本館5階(504教室) + WEB開催】
+ オンデマンド配信

日時
演者

帝京大学医学部内科学講座 主任教授
上妻 謙 先生

※ 講演後、TARCよりNature研究の臨床研究支援について紹介を行います

対象

本学大学院生、本学教職員（医学部、薬学部、医療技術学部、理工学部データサイエンス学科）その他臨床研究に興味のある方

* 医学研究科大学院生は、臨床研究学公開講座（LMSにて3月末まで公開）を3コマ受講すると必修科目『医学研究特論』の単位の一部として認められますが、本セミナーはそのうちの1コマに相当します

申込

<https://forms.office.com/r/XjS8tmCgy0>

※会場参加・WEB参加どちらの場合もご登録ください



お問い合わせ

帝京大学 臨床研究センター(TARC)

tarc-info@teikyo-u.ac.jp

(内線45062)



帝京大学
臨床研究センター
Teikyo Academic Research Center